

平成 27 年度第 1 回
嬉野地区新高校
設置準備委員会
(資料)

平成 27 年 5 月 28 日
佐賀県教育委員会

目次

		頁
資料 1	新高校設置準備委員会設置要領	1
資料 2	嬉野地区新高校設置準備委員会委員構成	3
資料 3	新高校設置に向けた検討体制	4
資料 4	新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画 (第1次)(概要版)	5
資料 5	県立高校再編整備計画(嬉野地区)	8
資料 6	嬉野地区新高校設置準備委員会検討スケジュール	9
資料 7	めざす学校像	10

新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日
佐賀県教育委員会教育長決定
一部改正 平成17年4月 1日
一部改正 平成18年7月12日
一部改正 平成21年4月 1日
一部改正 平成27年4月 1日

(設置)

- 第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校(以下「新高校」という。)の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。
- 2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

(所掌事項)

- 第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。
- 一 新高校の教育内容及び管理運営等に関する事
 - 二 新高校の施設・設備に関する事
 - 三 新高校への円滑な移行に関する事
 - 四 前号に掲げるもののほか、検討を要する事

(組織)

- 第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校(以下「再編等対象校」という。)の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。
- 2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。
 - 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。
 - 4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

(会議)

- 第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。
- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(事務局)

- 第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び県立高校再編整備推進室に置く。

(補足)

- 第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

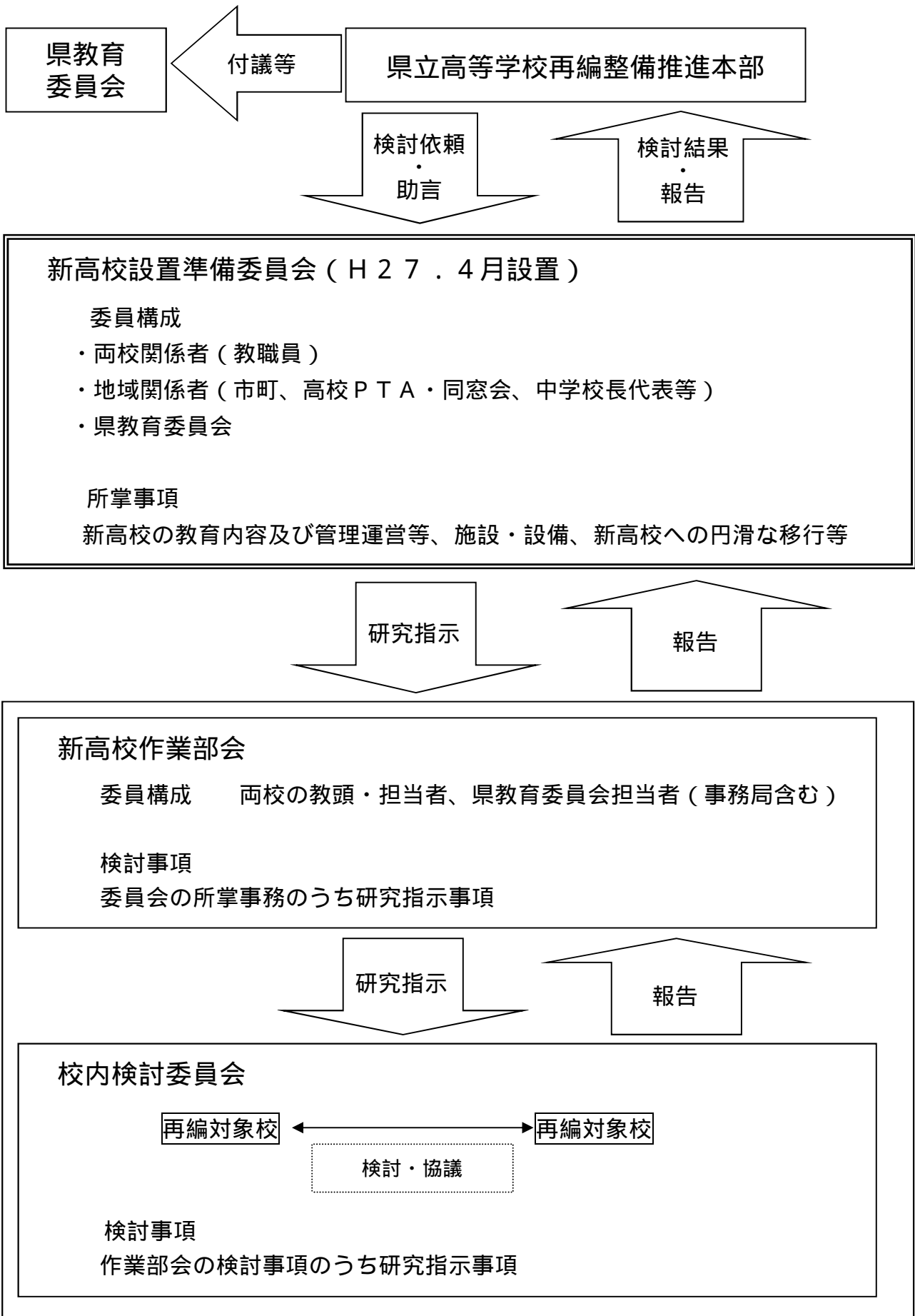
別表（第1条関係）

委 員 会 名	再 編 等 対 象 校
伊万里地区新高校 設置準備委員会	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
杵島地区新高校 設置準備委員会	白石高等学校、杵島商業高等学校
新巖木高校 設置準備委員会	巖木高等学校
鹿島地区新高校 設置準備委員会	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
嬉野地区新高校 設置準備委員会	塩田工業高等学校、嬉野高等学校

資料2 嬉野地区新高校設置準備委員会委員構成

No.	所属・職名	氏名	備考			
1	塩田工業高等学校 校長	藤井 伸幸	委員長・学校関係者			
2	嬉野高等学校 校長	峰松 藤一郎	副委員長・学校関係者			
3	塩田工業高等学校 教頭	津川 久博	学校関係者			
4	嬉野高等学校 教頭	池田 豊昭				
5	嬉野市教育長	杉崎 士郎	嬉野市	市関係者		
6	嬉野市副市長	中島 庸二				
7	武雄市教育長	浦郷 究	武雄市			
8	鹿島市教育長	江島 秀隆	鹿島市			
9	塩田工業高等学校 同窓会代表	西村 利則	地元関係者			
10	嬉野高等学校 同窓会代表	平野 國廣				
11	塩田工業高等学校 P T A代表	石橋 蔵人				
12	嬉野高等学校 P T A代表	太田 和章				
13	嬉野市立塩田中学校長	永田 由美	中学校関係者			
14	嬉野市立嬉野中学校長	陣内 弘文				
15	副教育長（教育情報課長）	福田 孝義	県教委関係者			
16	教育政策課長	八谷 幸浩				
17	教職員課長	福地 昌平				
18	学校教育課長	松尾 敏実				
19	保健体育室長	三上 智一				
20	教育支援課長	源五郎丸 靖				
21	県立高校再編整備推進室長	甲斐 照章				
22	県立高校再編整備推進室 教育企画監	岩村 彰				
事務局	塩田工業高等学校教諭	見浦 浩徳				
	嬉野高等学校教諭	梶原 理世				
		滑川 喜生				
	県立高校再編整備推進室 企画主幹	上赤 真澄				
県立高校再編整備推進室 企画主査	杉本 耕一郎					

新高校設置に向けた検討体制



資料4 新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第1次）
（概要版）

新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第1次）（概要版）
（計画期間：平成33年度まで）

佐賀県立高等学校生徒減少期対策審議会答申（H24.8月）
「生徒減少期に対応した県立高等学校教育の充実・発展に資する対策について」

「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（新実施計画）」＜たたき台＞
（H25.11月）

「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（新実施計画）（第1次）」（案）
（H26.10月）

「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（新実施計画）（第1次）」
（H26.12月）

新実施計画策定に当たっての基本的な考え

背景

- ・ 新たな生徒減少期
- ・ 社会経済情勢の変化

目標

- ・ 生徒が進路希望を実現できる教育環境の整備
- ・ 高等学校教育の質的充実

方向性

- ・ 長期的・全県の視野に立った高等学校の再編整備の推進
- ・ 高等学校の学科等の整備

新実施計画策定の方針

新実施計画については、次の区分により、策定することとする。

新実施計画 （第1次）	平成30年度に到来する新たな生徒減少期に向けて、早期に方針を決定し、準備に着手する必要がある県立高等学校の再編整備等
新実施計画 （第2次）	平成30年度に到来する新たな生徒減少期に向けて、今後更に調査や検証、協議等が必要な県立高等学校の再編整備等

県立高等学校再編整備の基本方針

1 学校規模

1学年160人～320人（4学級～8学級）とする。ただし、1学年120人（3学級）の学校については、柔軟に対応する。

2 再編の対象

次のいずれかに該当する場合は、再編の対象校として検討する。

- ・ 1学年120人（3学級）以下の高等学校で、学校規模に由来する課題により、必要な教育活動を維持することが困難であると見込まれる場合
- ・ 1学年120人（3学級）の高等学校で、定員を維持することが困難となることが見込まれる場合

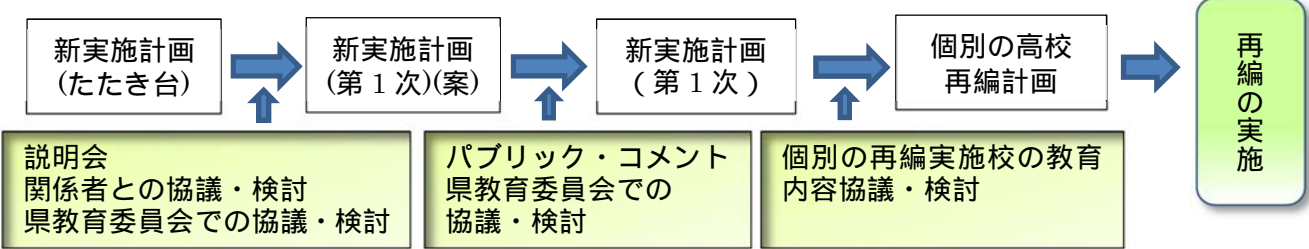
[1学年80人（2学級）の高等学校が存続する場合]

- ア 特色ある教育施策の実施等により、県全体の教育効果を高めることが特に期待される場合
- イ 地理的条件や交通事情により、生徒の教育に重大な支障を来すことが懸念される場合

再編整備の進め方

1 新実施計画（第1次）

新実施計画（第1次）については、個々の再編整備計画をもとに、再編対象ごとに設置準備委員会を設置し、再編実施後の高等学校における教育内容等について検討する。



2 新実施計画（第2次）

平成28年度を目途に策定する。

主な検討事項

- ・ 県全体の農業教育と佐賀農業高等学校の在り方に係る検討
- ・ 神埼地区の高等学校（神埼高等学校・神埼清明高等学校）の学校運営の在り方に係る検討
- ・ 県立高等学校の活性化（グローバル社会への対応、産業技術の高度化への対応（専攻科等の検討））
- ・ 通信制課程の移転及び昼間定時制の導入

具体的な再編整備計画

1 平成14年計画に掲げた再編整備計画

伊万里地区（平成31年度まで）

再編対象校	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
新高等学校の場所	伊万里農林高等学校若しくは伊万里商業高等学校又は校舎制* （校地については、地域の意見も聞きながら、引き続き検討する。）
募集定員	1学年200人（5学級規模）
学 科	現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。

なお、伊万里地区については、生徒数の減により、平成33年度にさらに募集定員を40人（1学級相当）減じる必要があると見込んでいる。

武雄・杵島地区（平成30年度まで）

再編対象校	白石高等学校、杵島商業高等学校
新高等学校の場所	当面、校舎制
募集定員	1学年200人（5学級規模）
学 科	現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。

佐賀農業高等学校は、本県の農業科において中心的な役割を担う学校と位置付けることから、現在の学科を維持できるよう、当面、1学年120人（3学級規模）を維持し、単独校とする。

なお、武雄・杵島地区のうち杵島地区については、生徒数の減により、平成32年度にさらに募集定員を40人（1学級相当）減じる必要があると見込んでいる。

2 新たな再編整備計画

唐津地区（平成30年度まで）

改編対象校	巖木高等学校
新高等学校の場所	現在の校地
募集定員	1学年80人（2学級規模） ・ 学区募集枠 40人 ・ 全県募集枠 40人
学 科	普通科
備 考	全県募集枠については、全日制高等学校で学ぶ意欲と能力のある、不登校経験や発達障害のある生徒及び高等学校中途退学者を対象とする。

鹿島・藤津地区（平成30年度まで）

再編対象校	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
新高等学校の場所	当面、校舎制
募集定員	1学年280人（7学級規模）
学 科	現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。

再編対象校	塩田工業高等学校、嬉野高等学校
新高等学校の場所	当面、校舎制
募集定員	1学年200人（5学級規模）
学 科	現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。

なお、鹿島・藤津地区については、生徒数の減により、平成31年度及び平成32年度に、さらに募集定員を各40人（1学級相当）減じる必要があると見込んでいる。

* 校舎制：再編前の高等学校の校舎をそれぞれ活用し、複数の校舎を持つ1つの高等学校として再編する。

県立高等学校の活性化

1 基本的な考え方

今後の県立高等学校の質的充実を図るための視点

- (1) グローバル社会への対応
- (2) 産業技術の高度化への対応
- (3) 教育機会の更なる拡大

2 学科等整備の基本方向

- (1) 職業教育の中心的な役割を担う高等学校

産業技術の高度化への対応として、職業教育の中心的な役割を担う高等学校を位置付ける。

学 科	中心的な役割を担う高等学校
農業科	佐賀農業高等学校
工業科	佐賀工業高等学校
商業科	佐賀商業高等学校
家庭科	牛津高等学校

- (2) 生徒の実態に応じた教育機会の更なる拡大

不登校経験や発達障害のある生徒及び高等学校中途退学者に対する教育については、モデル校である太良高等学校の検証結果等も踏まえて、同様の取組を巖木高等学校へ展開する。

なお、グローバル化への対応や高度技能者の育成に係る専攻科等についての検討等については、引き続き検討を行い、新実施計画（第2次）で取り組むこととする。

県立高等学校の通学区域

全日制課程の普通科について設定している4学区（東部・中部・北部・西部）を、学校の配置状況、生徒の通学状況、地域間のバランスを総合的に勘案して、平成28年度から、当面、東部学区と中部学区を合わせた学区（新東部学区）と北部学区と西部学区を合わせた学区（新西部学区）の2学区とする。

なお、さらに通学区域を拡大し、全県一区とすることについては、2学区とした後の通学状況等を検証しながら、引き続き検討していくこととする。

各高等学校の志願動向と募集定員

各高等学校の募集定員については、基本的に各学区・地区内の中学校卒業見込者数の動向に応じて決定するが、生徒の志願動向を重視し、中学校卒業見込者数の減少による各学区・地区の募集定員の減がない場合でも、2年連続して一般選抜試験の学校別の志願倍率が1倍に満たなかった高等学校については、募集定員の減を検討する。

県立高校再編整備計画（嬉野地区）

鹿島・藤津地区の生徒減少に合わせ、平成 30 年度までに、県立高等学校の再編を実施する。

再編対象校	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
新高等学校の場所	当面、校舎制
募集定員	1 学年 280 人（7 学級規模）
学 科	現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。
再編対象校	塩田工業高等学校、嬉野高等学校
新高等学校の場所	当面、校舎制
募集定員	1 学年 200 人（5 学級規模）
学 科	現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。

なお、鹿島・藤津地区については、生徒数の減により、平成 31 年度及び平成 32 年度に、さらに募集定員を各 40 人（1 学級相当）減じる必要があると見込んでいる。

嬉野地区新高校設置準備委員会検討スケジュール（案）

回	時期	主な検討項目
第 1 回	H27 年 5 月 28 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員委嘱 ・ 新実施計画の概要 ・ 嬉野地区の再編計画について ・ 新高校設置に向けての検討事項及び検討スケジュール ・ めざす学校像（現状を踏まえた意見交換） など
第 2 回	H27 年 7 月下旬 ～ 8 月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ めざす学校像 ・ 学科の構成（現状分析、今後の方向性についての意見交換） など
第 3 回	H27 年 10 月上旬 ～ 10 月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学科の構成（新高校の学科構成 等） ・ 校舎制（他県の状況を踏まえた意見交換） など
第 4 回	H27 年 12 月下旬 H28 年 ～ 1 月下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎制 ・ 新高校の教育内容（教育課程、校時 等） など
第 5 回	H28 年 3 月中旬 ～ 3 月下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校務分掌 ・ 各種委員会 など
第 6 回 ～	H28 年 4 月～	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育内容に係る検討 （平成 27 年度からの継続検討） ・ 新高校の校名、校章、校歌、制服制定に係る検討 ・ 施設・設備に係る検討 など
備考	H29 年 2 月	・ 2 月議会（条例改正案）
	H29 年 3 月	・ 新高校再編計画
	H29 年 4 月～	・ 広報活動、施設・設備の整備
	H30 年 4 月	開校

1 現在の状況

学校の概要 (「学校要覧」などによる)



塩田工業高等学校

○校訓 「希望 錬磨 誠実」

○教育目標

校訓を教育方針とし、「ものづくりを通じた人づくり」教育を行い、工業技術人として必要な学ぶ力を育み、心身ともに健全で社会に貢献できる工業技術者の育成を目指す。

○学科・定員 工業科120名

機械科40名 情報技術科、電気科40名 建築科40名

○特色

1年次は必修科目を中心に基礎学力を身に付けるとともに、専門科目の学習を通じて早い時期より各種資格取得に対応した学習を行う。2、3年次は、さらに専門科目の学習を深め、生徒一人ひとりが将来の進路実現に向けて積極的に各種資格取得に取り組み、確かな学力を身に付けていく。

- ・就職及び進学とも内定率9年連続100%。
- ・部活動の全国・九州出場(ソフトテニス部)。

○課題

- ・基礎学力向上(学びの2極分化)。
- ・家庭学習の習慣化
- ・資格取得に係る合格率の向上。



嬉野高等学校

○校訓 「立志躍動」

○教育目標

- ・一人ひとりの個性の伸長と豊かな人間性の涵養を図る。
- ・社会の変化に主体的に対応できる幅広い教養と専門知識・技能の修得を図る。
- ・社会に貢献できる心身ともに健全で社会性豊かな人材の育成を図る。
- ・校訓の精神を生かし、志に向かって若き情熱と行動力を傾け、その達成に邁進する人材の育成を図る。

○学科・定員 総合学科120名

(情報ビジネス系列、観光・流通系列、人文科学系列、文化教養系列、社会福祉系列)

○特色

- ・H12より総合学科。多様な選択科目の設定(普通科と専門学科の両者の特色あり)。
- ・社会福祉系列3年生 介護福祉士国家試験 6年連続全員合格。
- ・部活動の全国・九州出場(ソフトテニス部)。

○課題

- ・基礎学力の定着状況に差あり。
- ・四年制大学への進学者数が10%程度。

進路状況 (「卒業後の状況調査H27.3卒業者(速報値)」による。数値は人数。)



塩田工業高等学校

四年制大学3(うち国公立0)

短期大学0

専修学校等14(含:就職4)

就職118

卒業者数131

<主な進学先>

(私立)福岡大学、九州産業大学、西九州大学
(専修学校等)佐賀コンピュータ専門学校、九州国際情報ビジネス専門学校、緑生館、鹿島看護学校

<主な就職先>

日産自動車、JFEスチール、トヨタ自動車、豊田鉄工、アイシン化工、ジェイテクト、西島製作所、ダイハツ工業、マツダ、新日鐵住金八幡製鐵所、九州製鋼、九電工、佐川急便九州支社、フランソア、東亜工機、友朋会、森鉄工、祐徳薬品工業、九州住電精密、ジェイエイビレッジ佐賀、鹿島機械工業、中山鉄工所、佐賀シール工業、不二コンクリート工業、デリカフレンズ佐賀工場、佐賀県農業協同組合、名村造船所、塩田環境開発、友樹飲料、織田病院、戸上デンソー、五光建設、祐徳自動車、宮園電工、エスティ工業、キタック、ソクト、警視庁、陸上自衛隊、航空自衛隊



嬉野高等学校

四年制大学9(うち国公立3)

短期大学6

専修学校等36

就職62

その他1

卒業者数114

<主な進学先>

(国公立)佐賀大学、熊本大学、長崎県立大学
(私立)西九州大学、福岡大学、九州共立大学
(短期大学)西九州短大、佐賀女子短大

(専修学校等)九州国際ビジネス専門学校、トヨタ名古屋自動車大学校、福岡美容専門学校、麻生リハビリテーション大学校、久留米リハビリテーション学院、長崎リハビリテーション学院、武雄看護リハビリテーション学校、緑生館

<主な就職先>佐賀西信用組合、祐徳薬品工業、祐徳福荷神社、和多屋別荘、ホテル華翠苑、肥前通運、祐徳自動車、タケックス、佐賀セロリー、佐賀シール工業、村岡屋、友朋会嬉野温泉病院、白石共立病院、社会福祉法人済昭園、すみれ園、Aコープ佐賀、山崎製パン、東京急行電鉄、東京エアポートレストラン、エスラインギフト、札幌かに本家、美々卯、セラミックセンサ、マツダ、イズミ、昭和金属工業、JR九州、にしけい、長崎キヤノン、陸上自衛隊、航空自衛隊

部 活 動 (H27.5.1現在。数値は部員数。)



塩田工業高等学校

- <体育部> 野球(45)
バレーボール男子(16)
ソフトテニス男子(26)
バスケットボール男子(25)
バドミントン男子(23)
サッカー(52)
卓球(11)
柔道(10)
剣道(2)
陸上競技(9)



- <文化部> 機械研究(8)
情報技術研究(11)
電気研究(1)
建築研究(4)
新聞(10)
美術(5)
吹奏楽(8)
ボランティアクラブ(4)



嬉野高等学校

- <体育部> 野球(17)
バレーボール女子(25)
ソフトテニス女子(10)
バスケットボール男子(9)
バスケットボール女子(20)
バドミントン男子(14)
バドミントン女子(33)
ソフトボール(15)
剣道(10)
卓球(7)
陸上競技(11)



- <文化部> 商業技術(41)
情報処理(12)
美術(8)
和太鼓(14)
JRC(37)
ソングリーディング(28)
書道(17)
茶華道(20)



主 な 行 事



塩田工業高等学校

- 【 4月】入学式、1年生宿泊研修
工業高校就職模擬試験
- 【 5月】ものづくりマイスターによる講義
- 【 6月】県下一斉就職希望者学力テスト
全工情報技術検定、計算技術検定
ものづくりコンテスト佐賀県大会
- 【 7月】全校ボランティア活動
第二種電気工事士技能試験(上期)
クラスマッチ
- 【 8月】就職・進学学習会(3年)
就業体験(2年)
- 【 9月】模擬面接指導、就職試験開始
- 【10月】塩工祭(体育祭・文化祭)
工業技術研究発表大会
- 【11月】工事担任者DD第三種試験
危険物取扱者試験
就業体験発表会(1・2年)
- 【12月】全工パソコン利用技術検定
耐寒訓練、校内マラソン大会、
修学旅行(2年)、全校ボランティア活動
- 【 1月】ガス溶接技能講習
- 【 2月】全校課題研究発表会
- 【 3月】卒業式



嬉野高等学校

- 【 4月】入学式 宿泊研修(1年)
- 【 5月】さが“食と農”絆づくり事業(文教)
国際交流(中国)
- 【 6月】県介護技術コンテスト(福祉)
- 【 7月】介護実習(福祉)、インターンシップ(2年)
- 【 8月】九州地区介護技術コンテスト(福祉)
- 【 9月】嬉高祭(文化祭、体育祭)
国内旅行業務取扱試験(観光)
就職試験開始 進路啓発研修(1年)
- 【10月】さが“食と農”絆づくり事業(文教)
県商業技術競技会(情ビ)、
- 【11月】芸術鑑賞会
全商珠算・電卓実務検定(情ビ)
全商ビジネス文書実務検定(情ビ)
全国高校介護技術コンテスト(福祉)
手話パフォーマンス甲子園(福祉)
出前授業(各地域)
- 【12月】介護実習(福祉) 県商簿記検定(情ビ)
校内マラソン大会
- 【 1月】全商情報処理検定(情ビ)
全商簿記実務検定(情ビ)
修学旅行 介護福祉士国家試験(福祉)
テーブルマナー講習会(文教)
- 【 2月】総合学科発表会
- 【 3月】卒業式 介護実習(福祉)





塩田工業高等学校

- 地区行事、地域ボランティア等への参加
 - ・嬉野市文化祭、志田焼の里博物館春・秋まつりへのボランティア参加
 - ・未来へはばたく子どもたち展への生徒作品展示及びエコカー試乗体験
- 小学校、中学校、特別支援学校との連携
 - ・塩田町内小中学校との連携授業
 - ・塩田小、久間小、塩田中、吉田中で体験授業(出前授業)を実施
- 地元産業界との合同研修会
 - ・鹿島地区建築士会との合同研修会(毎年実施)
 - 建築科2年生と鹿島地区建築士会会員との伝統技術継承と交流
- 地元幼稚園、行政機関への作品寄贈
 - ・本應寺保育園へのベンチ寄贈
 - ・鹿島市へのバス停用ベンチ寄贈
 - ・塩田津へのベンチ寄贈
- 学校開放講座
 - ・ワープロ及びCAD講座



嬉野高等学校

- 【情報ビジネス系列】
 - うれしのまなびや販売実習
 - うれしの茶ミット、フラ・フェスティバル、エンジン02さが(嬉野市)、うれしの温泉秋まつり
- 【観光・流通系列】
 - わいわいコンテナin鹿島、塩田津ガイド、さがひな市、酒蔵ツーリズム、嬉野風鈴土曜夜市、うれしの茶ミット
- 【社会福祉系列】
 - 社協での出前嬉野高校デイサービス、ボランティアスクール、地元施設での介護実習、訪問学習(鹿島療育園、たちばな学園)、小・中学校へのUD出前授業、うれしの特別支援学校との交流学习
- 【文化教養系列】
 - さが食と農絆づくりプロジェクト「ふるさと先生」
 - 東日本大震災の義援金のチャリティバザー
- 【和太鼓部・ソングリーディング部】
 - うれしの茶ミット、ふじまつり、土曜風鈴夜市イベント、嬉野温泉病院盆踊り大会、吉田夏まつり、武雄自動車学校モーターフェス、たちばな学園収穫祭、うれしのあったかまつり、祐徳門前春まつり、鹿島市民体育大会、特老「うれしの」誕生会、サガン鳥栖嬉野デー嬉野カーニバル、ダンスフェスティバル



2 新高校のめざす学校像

- ・ 教育目標について
- ・ 学校の特色づくりについて
- ・ 育成したい人材について
- ・ 地域との連携について
- ・ その他